



2-3面 「若狭『百選ものがたり』」

4-5面 「若狭の史跡巡り」

6面 「伝統食材、郷土料理の宝庫・若狭」

7面 「若狭の歴史・文化にふれる」

8面 「若狭マップ」「イベントカレンダー」

電気新聞地域版

若狭百選ものがたり

Kehi no matsubara



日本三大松原の一つで、ウォーキングに最適

- ◎ 住所・敦賀市松島町
- ◎ 問い合わせ先・敦賀観光案内所 0770-21-8686
- ◎ アクセス
 - ・JR敦賀駅から「コミュニティバス『常宮線』『松原線』」で約12分 「気比の松原」下車
 - ぐるっと敦賀周遊バスで約15分 「松原海岸」下車
 - ・JR敦賀駅からタクシーで約10分

[敦賀市] 気比の松原

『日本の白砂青松百選』

長さ約1・5キロ、広さ約40平方㍍の「気比の松原」。赤松、黒松が生い茂る国の名勝地で、三保の松原（静岡県）、虹原の緑、砂浜の白、海と空の青など色彩のコントラストが美しい。また、遊歩道も整備されウォーキングにも最適であり、高濱虚子らの句碑、史跡の碑を訪ねながら散策を楽しめる。

Wakasa Obama



たおやかな小浜湾は四季折々の景観が楽しめる

- ◎ 住所・敦賀市松島町
- ◎ 問い合わせ先・敦賀観光案内所 0770-21-8686
- ◎ アクセス
 - ・北陸自動車道敦賀ICから車で約13分
 - ・JR敦賀駅から「コミュニティバス『常宮線』『松原線』」で約12分 「気比の松原」下車
 - ぐるっと敦賀周遊バスで約15分 「松原海岸」下車
 - ・JR敦賀駅からタクシーで約10分

[小浜市] 若狭小浜

『日本の渚百選』

「若狭小浜」の渚は、起伏に富んだ海岸線が美しい国定公園の若狭湾に位置する。特に夕日に染まるその海は、のんびりと時を忘れてとびきりの贊沢を味わえる。また、若狭湾の内湾である小浜湾は内外海（うちとみ）半島と大島半島に抱きかかえられるようにあって、波静かな天然の良港だ。

- ◎ 問い合わせ先・若狭おばま観光案内所 0770-52-2082
- ※小浜市へのアクセスは8面のアクセス案内を参照

Uriwari no taki



あまりの冷たさに瓜が割れたことからこの名がついた

- ◎ 住所・若狭町天徳寺37-1-3
- ◎ 問い合わせ先・若狭瓜割名水公園・名水の里 0770-62-0186
- ◎ アクセス
 - ・北陸自動車道敦賀ICから徒歩約15分
 - ・JR上中駅から徒歩約15分
 - 舞鶴若狭自動車道小浜ICから車で約15分

[若狭町] 瓜割の滝

『全国名水百選』『水の郷』

天徳寺境内奥に位置する「瓜割の滝」。瓜も割れるほどに冷たいことからこの名がつけられた。滝から湧き出る瓜割の水は、幾重もの地層が自然のフィルターとなつて長い歳月をかけてろ過した純度の高いミネラル成分が溶け込んだ名水となっており、多くの人々に愛飲され親しまれている。また、滝のある庭園内には四季折々の花々が植えられており春は桜、菖蒲などが咲く。

歴史、文化、自然などの見どころが揃う若狭。

国や各種団体などが選出した様々な「百選」には若狭のスポットも多数。その中から人々を魅了する幾つかのスポットを取り上げる。

Kuniyoshi Castle



戦国時代の山城・国吉城

- ◎ 住所・美浜町佐柿25-2
- ◎ 問い合わせ先・若狭国吉城歴史資料館 0770-32-0050
- ◎ アクセス
 - ・JR美浜駅から美浜コミュニティバス丹生線「佐柿」下車
 - 歩歩3分
 - ・舞鶴若狭自動車道若狭美浜ICから車で約5分

[美浜町] 国吉城

『続日本100名城』

国吉城は1556年、若狭国守護武田氏の重臣・栗屋越中守勝久が築いたといわれ、若狭国と越前国の境を守備する「境目の城」で、織田信長の越前朝倉攻めの拠点であった。戦国3大武将である織田信長、豊臣秀吉、徳川家康が勢ぞろいし、戦の準備をしたことでも知られる。江戸時代初めに城は廃城となり、その後には佐柿町奉行所が置かれ、佐柿城下は丹後街道の宿場として繁榮した。今も城のふもとには城下町・佐柿の歴史風情あふれる町並みが残り、桜の時期には情緒豊かな景色が楽しめる。

所が置かれ、佐柿城下は丹後街道の宿場として繁榮した。今も城のふもとには城下町・佐柿の歴史風情あふれる町並みが残り、桜の時期には情緒豊かな景色が楽しめる。

[高浜町] 日引の棚田

『日本の棚田百選』

内浦湾に面した狭い斜面に階段状に約200枚の水田があり、風光明媚な景観が広がる。春の穏やかな風景のほか、水が張られきらきらと輝く水田、青々と茂る水田、黄金色の水田が四季折々違った表情を見せてくれる。ここに立てば奥に広がり青く光る内浦湾と相まって格別な景色を楽しめる。

があり、風光明媚な景観が広がる。春の穏やかな風景のほか、水が張られきらきらと輝く水田、青々と茂る水田、黄金色の水田が四季折々違った表情を見せてくれる。ここに立てば奥に広がり青く光る内浦湾と相まって格別な景色を楽しめる。

Hibiki no tanada



約200枚の水田が広がる。その景色はまさに日本の原風景

- ◎ 住所・高浜町日引
- ◎ 問い合わせ先・若狭高浜観光協会 0770-72-03338
- ◎ アクセス
 - ・舞鶴若狭自動車道大飯高浜ICから車で約45分

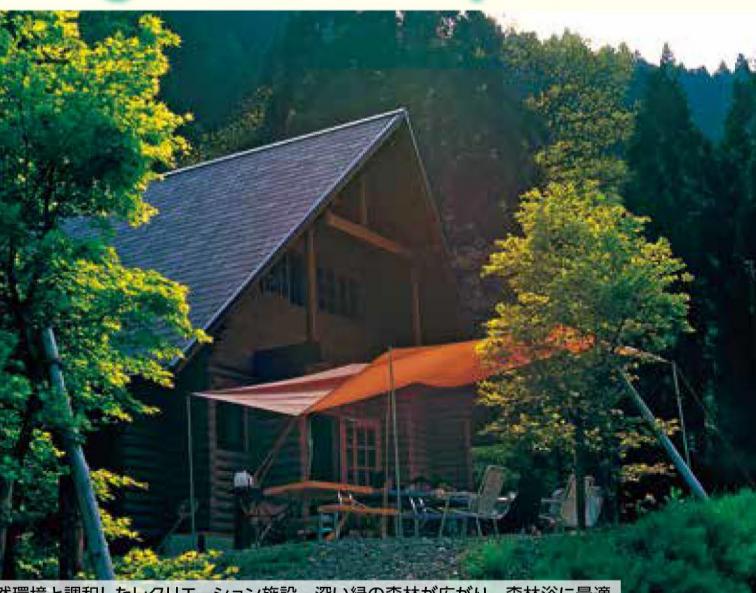
[おおい町] ハケ峰家族旅行村

『水源の森日本百選』

福井県の最南端にあり、染ヶ谷上流を整備してつくれたのが「八ヶ峰家族旅行村」。総面積228万平方㍍の旅行村内にはブナ、ナラなどの原生林が広く分布し、それら原生林より湧き出る水は清らか。また、昔の民家をそのまま利用した宿泊施設、キャンプ場やバンガローなどがあるほか、竹細工、薪割など色々な体験メニューも利用できる。5月4日には「50周年記念イベント」が開催され、炭焼き体験や、餅つき大会、お笑いライブなどが満喫できる。

福井県の最南端にあり、染ヶ谷上流を整備してつくれたのが「八ヶ峰家族旅行村」。総面積228万平方㍍の旅行村内にはブナ、ナラなどの原生林が広く分布し、それら原生林より湧き出る水は清らか。また、昔の民家をそのまま利用した宿泊施設、キャンプ場やバンガローなどがあるほか、竹細工、薪割など色々な体験メニューも利用できる。5月4日には「50周年記念イベント」が開催され、炭焼き体験や、餅つき大会、お笑いライブなどが満喫できる。

Hachigaminekazokuryokoumura



自然環境と調和したレクリエーション施設。深い緑の森林が広がり、森林浴に最適

- ◎ 住所・おおい町名田庄染ヶ谷6-8
- ◎ 問い合わせ先・八ヶ峰家族旅行村 0770-67-2844
- ◎ アクセス
 - ・舞鶴若狭自動車道小浜ICから車で約45分

若狭の史跡巡り

Kitamaebune



北前船文化の名残の一つの「昆布の手すき加工技術」。おぼろ昆布は敦賀を代表する特産品

※敦賀市へのアクセスは8面のアクセス案内を参照

[敦賀市] 北前船

敦賀市など11自治体が文化庁に申請していた「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間・北前船寄港地・船主集落」が2017年春、日本遺産に認定された。江戸時代、北海道・東北・北陸と西日本を結んだ西回り航路

は経済の大動脈であった。この航路を利用した商船を「北前船」と呼び、その寄港地であった敦賀に今も残る北前船ゆかりの文化財や技術が日本遺産となつた。江戸中期以降の敦賀には北前船を通じて昆布やニシンなど松前物と呼ばれる北海道からの荷が飛躍的に増え、特に昆布については一大集荷地となり、今も全国のおぼろ昆布生産量の約8割を占める。認定の対象は「昆布の手すき加工技術」「洲崎の高燈籠（たかとうろう）」「鯨藏（にしんぐら）」「旧大和田銀行初代本店」「疋田舟川」の5件。

◎問い合わせ先：敦賀市役所 0770-21-1111
敦賀観光協会 0770-22-8167

Saba kaidō



物資のほか、人、文化を運ぶ交流の道でもあった



鯖街道起点・いづみ町商店街（小浜市）にある起点プレート（小浜市）

◎問い合わせ先：小浜市・若狭町日本遺産活用推進協議会（小浜市役所教育委員会文化課）
0770-64-6034
若狭三方五湖観光協会
0770-45-0113
※小浜市・若狭町へのアクセスは8面のアクセス案内を参照

[小浜市・若狭町] 鯖街道

古代から「御食国（みけつくに）」として塩や海産物などの豊かな食材を都に運び、都（京都）の食文化を支えてきた若狭国。若狭はまた、大陸からつながる海の道と都へつながる陸の道の最大の結節点でもあつた。18世紀後半から多くの鯖が若狭から京都へ運ばれており、「鯖街道（さばかいどう）」と呼ばれる都へつながる街道群沿いには、往来交易によって繁栄した町並みや、大陸や都市の交流によってもたらされた神社・仏閣・祭などの伝統行事、往来の歴史のなかで育まれた独自の食文化など多彩で密度の濃い往来文化遺産群が今も大切に守り伝えられている。2015年、文化庁の日本遺産第1号として小浜市と若狭町が「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群・御食国若狭と鯖街道」に認定された。1500年もの往来の歴史が今も息づく「鯖街道」。その歴史の営みを体感してみては。

◎問い合わせ先：小浜市・若狭町日本遺産活用推進協議会（小浜市役所教育委員会文化課）
0770-64-6034
若狭三方五湖観光協会
0770-45-0113
※小浜市・若狭町へのアクセスは8面のアクセス案内を参照

Kumagawajuku



鯖街道の宿場町。街道沿いに立ち並ぶ土蔵や町家が当時の面影を残す

◎問い合わせ先：若狭町熊川宿
0770-45-9112
○問い合わせ先：若狭町総合戦略課観光交流室 0770-45-9112
○アクセス
・JR上中駅からJRバスで「若狭熊川」下車
・舞鶴若狭自動車道若狭上中ICから車で約20分

[若狭町] 熊川宿

若狭地方のほぼ中央部、山峡にある「熊川宿」。1589年、浅野長政が交通と軍事において重要な場所であることから宿場町とし、江戸時代には若狭街道の物流の中継拠点として繁栄した。国の重要伝統的建造物群保存地区に指定され、その対象地区は東西方向に通る街道筋に形成された旧宿場町の大部分を占める。街道沿いには多様な形式の建物が立ち並び、変化ある町並景観を構成している。この道を多くの人々、そして、文化が行き交い、道を歩けば歴史との出会いがある。「熊川宿」の道を一度、歩いてみよう。

*紹介した各スポットなどの位置は8面のエアマップを参照して下さい

時代とともに刻まれてきた歴史や、長年地域に息づく独自の文化が各所に色濃く残る若狭。

また、古い寺社も数多く、貴重な国宝や国指定文化財がある。

色々な史跡などを巡って若狭の歴史を感じてみては。

Mimi Shrine



彌美神社の王の舞は「今年も良い年であれ」と行われる

「王の舞（おのまい）」は地域ごとにそれぞれの特色を保ちながら継承され、若狭の春の風物詩。毎年5月1日の彌美神社（みみじんじゃ）例大祭で奉納される「王の舞」は県および彌美町の無形民俗文化財に指定されており、紅衣に天狗の面、鳳凰の冠装束の舞手が鉢を操る。優雅で美しいその舞は古い舞楽の調べとともに詩情あふれる神事である。彌美町では織田神社でも奉納されている。

◎住所：彌美町宮代10-25-1

◎問い合わせ先：彌美神社 0770-32-0254

○アクセス
・JR美浜駅からタクシーで約10分

・舞鶴若狭自動車道若狭美浜ICから車で約10分

白鳳時代に聖徳太子が開基したと伝わる、山の中でひつそりとたたずむ古刹の「馬居寺（まごじ）」は、桜と紅葉の名所として知られている。本堂には国の重要文化財の馬頭観世音菩薩坐像、本堂右手には五輪塔や数百体の石仏が静かに並んでおり、平安時代後期の作とされる馬頭観世音菩薩坐像は24年毎の午年に3日間、中間の12年目に1日だけ開帳される秘仏である。次の開帳は8年後の午年10月中旬を予定。

◎住所：高浜町馬居寺3-1

◎問い合わせ先：馬居寺 0770-72-1264

○アクセス
・JR若狭和田駅から徒歩約15分

・舞鶴若狭自動車道大飯高浜ICから車で約20分

Mago Temple



高野山真言宗の馬居寺。ご本尊は家内安全・息災延命・交通安全・学業成就などにご利益があると伝えられている

第三十一番札所の「臨濟宗常禪寺」。国の重要文化財である「不動明王坐像」はかつて大島半島の不動堂に「波切不動」として祀られていた像で、海上安全の守護として古くから厚く信仰してきた。1965年の台風の際に移動され、現在は常禪寺の境内に安置されている。像の頭部は総髪で左に弁髪を垂れ、両眼を見開き上牙で唇を噛む。松材の寄木造で、制作は平安時代後期といわれる。この像は秘仏であり、普段は公開されていない。

◎住所：おおい町大島（西村）

◎問い合わせ先：おおい町郷土資料館 0770-77-2820

○アクセス
・JR若狭本郷駅から大島行き福鉄バス（西村）下車徒歩5分

・舞鶴若狭自動車道大飯高浜ICから車で約30分

Jouzen Temple



第三十一番札所の常禪寺、不動明王坐像は平安時代の作で、別名「波切不動」とも呼ばれる

[おおい町] 常禪寺 不動明王坐像

第三十一番札所の「臨濟宗常禪寺」。国の重要文化財で

ある「不動明王坐像」はかつて大島半島の不動堂に「波

切不動」として祀られていた像で、海上安全の守護とし

て古くから厚く信仰してきた。1965年の台風の際

に移動され、現在は常禪寺の境内に安置されている。像

の頭部は総髪で左に弁髪を垂れ、両眼を見開き上牙で唇を噛む。松材の寄木造で、制作は平安時代後期といわれる。

この像は秘仏であり、普段は公開されていない。

◎住所：おおい町大島（西村）

◎問い合わせ先：おおい町郷土資料館 0770-77-2820

○アクセス
・JR若狭本郷駅から大島行き福鉄バス（西村）下車徒歩5分

・舞鶴若狭自動車道大飯高浜ICから車で約30分

若狭の歴史・文化にふれる



●小浜市● 福井県立若狭歴史博物館

2014年7月、福井県立若狭歴史民俗資料館から福井県立若狭歴史博物館へリニューアルオープンした。若狭地方の仏像や祭り、芸能などの文化遺産とそれを育んだ若狭の歴史を豊富な資料でわかりやすく紹介した展示は質・量ともに見応え十分である。若狭に残る繊細優美な仏像の実物・レプリカの展示、若狭と都を結ぶ道を立体地図と映像で見せるプロジェクトマッピングは必見。

■住所: 小浜市遠敷2-104 0770-56-0525
■開館時間: 午前9時~午後5時 (入館は午後4時30分まで)
■休館日: 年末年始、館指定日
■入館料: 一般300円 (有料の方が20人以上の団体は1人240円) / 小中学生・高校生・満70歳以上・障害者手帳などをお持ちの方は無料
■アクセス: JRバス若江線「遠敷」下車徒歩約10分 / JR東小浜駅から徒歩約7分
・舞鶴若狭自動車道小浜ICから車で約5分

●小浜市● 御食国若狭おばま食文化館

小浜市が誇る食や食文化に触れてもらうための体験型ミュージアムである。2つの棟と別館からなり、郷土料理などを作り味わう「キッチンスタジオ」、小浜の伝統工芸(若狭塗・若狭のう細工・若狭和紙)を体験できる「若狭工房」、心身の疲れをいやす「湯の湯」などがある。

■住所: 小浜市川崎3-4 0770-53-1000
■開館時間: 3/1~11/30は午前9時~午後6時 12/1~2/末は午前9時~午後5時
■入館料: 無料 / キッチンスタジオ・工房体験・湯の湯有料
■アクセス: JR小浜駅から車で約10分 / 舞鶴若狭自動車道小浜ICから車で約10分



●若狭町● 若狭三方縄文博物館

町内の縄文遺跡・鳥浜貝塚の出土品(縄文丸木舟、石器、木製品、編み物など)展示をはじめ、この地に暮らした縄文文化に触れることができる博物館である。勾玉・土笛づくりなどの体験講座、楽しみながら縄文人の気分を味わえる。

■住所: 若狭町鳥浜122-12-1 0770-45-2270 ■開館時間: 午前9時~午後5時
■休館日: 毎週火曜日 (国民の祝日などの場合はその翌日)、年末年始
■入館料: 小・中・高校生 200円 大学生以上大人500円 20人以上の団体は2割引 / 障害者手帳をお持ちの方、幼児(小学生未満)は無料
■アクセス: JR三方駅利用 車で約5分 / 自転車で約10分 (駅にレンタサイクル有) / 徒歩で約25分 / 舞鶴若狭自動車道若狭三方ICから車で約10分



※紹介した各スポットなどの位置は8面のエリアマップを参照して下さい

日本海沿岸地域や大陸と都を結ぶ中継地点として古来より発展してきた若狭。こうした若狭地域、各市、町の歴史と文化の特色について学べるのが各地にある資料館、博物館などである。これらの施設で知識を蓄え、周辺の史跡、寺社などを巡るのがおすすめ。

●美浜町● 若狭国吉城歴史資料館

戦国時代の山城である国吉城址とその城下町・佐柿の歴史的な町並みを紹介する資料館。資料館では移築された大庄屋母屋や様々な史料や発掘調査出土品のほか、模型や写真、解説パネルで国吉城と佐柿の450年の歴史を紹介している。

■住所: 美浜町佐柿25-2 0770-32-0050
■開館時間: 4月~11月は午前9時~午後5時 (入館は午後4時30分まで) 12月~3月は午前10時~午後4時30分 (入館は午後4時まで)
■休館日: 毎週月曜日 (月曜日が休日の場合はその翌日)、祝日の翌日、年末年始
■入館料: 大人100円 小人(中学生以下)50円 20人以上の団体は割引 / 障害者手帳などをお持ちの方、就学前の児童は無料
■アクセス:
・JR利用(美浜駅下車) 国道27号を敦賀方面へ徒歩約25分 / 敦賀行きバス「佐柿口」下車徒步約5分 / 美浜コムニティバス「佐柿」下車徒步約3分
・車利用(国道27号) 敦賀より約20分または小浜より約40分 / 舞鶴若狭自動車道若狭美浜ICから約5分

館内エントランスホールでは季節ごとにトピックス展や企画展を開催

●高浜町● 高浜町郷土資料館

1993年の開館で3つの展示室、2つのギャラリーを中心に、高浜町の美術工芸、民俗や考古などの歴史資料をパネルや写真で紹介している。「高浜七年祭」の迫力ある映像、史跡「二子山3号墳」の原寸大石室半裁模型の演出は必見。

■住所: 高浜町南団地1-14-1 0770-72-5270
■開館時間: 午前9時~午後5時 (入館は午後4時30分まで)
■休館日: 毎週月曜日、年末年始
■入館料: 高校生以上200円 小人(小・中学生)町内無料・町外100円 満70歳以上町内無料・町外200円 30人以上の団体は2割引 / 障害者手帳などをお持ちの方は町内無料・町外入館料の1/2
■アクセス:
・JR若狭高浜駅下車で徒歩約8分 / 舞鶴若狭自動車道大飯高浜ICから車で約15分

美術工芸・民俗文化資料などの歴史民俗資料をパネルや写真で展示

●おおい町● 暦会館

全国でも珍しい暦と天文学に関する資料館で、約1,000点の資料を展示。平安時代の有名な陰陽博士・安倍晴明の子孫、土御門家の人たちが室町時代から江戸時代にかけて120年間戦火を逃れ、現在のおおい町名田庄に住み、都の朝廷や将軍家のことを占ったり、祈祷をしたり、暦を作ったりしていたことにちなんで建てられた施設である。

■住所: おおい町名田庄納田終111-7 0770-67-2876
■開館時間: 午前9時~午後4時30分 (入館は午後4時まで)
■休館日: 毎週水曜日 (水曜日が祝日の場合は開館・翌日休館)、年末年始
■入館料: 高校生以上200円 小中学生100円 15人以上の団体は1割引 / 障害者手帳などをお持ちの方は無料
■アクセス:
・JR小浜駅から流星バス「名田庄線」で約50分 / 流星館「大飯高浜ICから車で約30分または小浜ICから車で約40分

古い時代の暦や天文器具、水時計など天文や暦、易学の貴重な資料が揃う

●敦賀市● 敦賀市立博物館

博物館の建物は郷土の偉人・大和田莊七が建てた旧大和田銀行本店で、県の有形文化財に指定されている。当時の敦賀港の繁栄を象徴する豪華な造りで、北陸で最初のエレベーター・大理石のカウンター、見上げるほどの大金庫など建物そのものも見どころ満載。

■住所: 敦賀市相生町7-8 0770-25-7033
■開館時間: 午前10時~午後5時
■休館日: 毎週月曜日 (月曜日が休日にあたる場合はその翌日)、祝日の翌日、年末年始
■入館料: 一般300円 20人以上の団体は250円 / 高校生以下無料
■アクセス:
・市内バス利用 (JR北陸本線敦賀駅から) ▷ コミュニティバス「松原線」「金山線」「常宮線」「山公文名線」「神楽町」下車 徒歩約5分 ▷ ぐるっと敦賀周遊バス「山車開館下車すぐ」
・タクシー JR敦賀駅から約5分
・車 北陸自動車道敦賀ICから約7分
・徒歩 JR北陸本線敦賀駅より約25分

旧大和田銀行本店 (敦賀市指定文化財) の建物を活用

伝統食材、郷土料理の宝庫・若狭

wakasa

豊かな自然の中で育まれた若狭産の食材。それを使い作られるこだわりの料理は郷土料理として、また、若狭の味として古くから多くの人々を楽しませてきた。その代表的な料理を紹介。

●美浜町● 鮪のへしこ

へしことは魚を塩と糠(ぬか)で漬け込んで作る魚の糠漬けのこと。ふぐやいわしのほか、特に「鮪のへしこ」が人気。美浜町のへしこは、よりおいしくするため、隠し味や漬け方、塩加減に工夫を凝らしており、約1年かけて熟成されるその味わいは、銘柄毎に特徴がある。その名の由来は地方の漁師言葉で木樽に鮪を漬け込む(押し込む)ことを「へし込む」といったことが、「へしこ」の始まりとされている。「郷土料理百選」の一つである。



●敦賀市● ニシンのすし

「ニシンのすし」は、若狭では「ニシのすし」とも呼ばれ、米のとぎ汁につけた身欠きニシンに米麹、塩漬けにした大根を交互に重ね、20日ほど漬け込んで作られる料理である。松前船や北前船で北海道から敦賀や小浜に運ばれてきた身欠きニシンを使って作られ始め、その後は各家庭の味へ受け継がれ、おふくろの味として親しまれている。



●高浜町● ふぐ料理

若狭湾のトラフグはよく身が締まってプリプリとした食感で歯応えがあり、「若狭ふぐ」というブランド名で定着し、特に高浜町産は新鮮で淡白な中に深い味わいがあると好評を得ている。定番は「てっさ(ふぐ刺し)」と「てっちり(ふぐ鍋)」。さらに、一番ぜいたくな食べ方の「焼きふぐ」や、幻の一品「白子」などが食べられるのは新鮮な産地だからこそ。ひれ酒と一緒に色々な「ふぐ料理」を楽しんでみては。



●若狭町● 天然ふぐ

日本海に面する若狭湾は豊富な魚種が獲れる一大漁場で、そこで昔から行われている大型の定置網漁は「大敷網(おおしきあみ)」と呼ばれる。毎年4月から5月にかけて天然のふぐが若狭町沖まで北上し、町内の宿や飲食店では春の「大敷網」に入る天然ふぐを使って「てっさ」をはじめ、旬のふぐ料理を用意する。「天然」のふぐだけに、その味は格別においしいと評判だ。



●おおい町● ぼたん鍋

おおい町名田庄地区の名物は「ぼたん鍋」。イノシシ肉のほかに地元の野菜や根菜、キノコ類などを煮込む。薄切りにしたイノシシ肉を大皿に盛りつけた様子が、ボタンが花開いたように見えることから呼び名がついた。雪深い地域で育つイノシシは肉質が良いとされ、脂くさもなく、体の温まる一品である。



おおい町産の肉は赤身と白身のバランスが最高。味噌仕立てにして地元の野菜などと煮込む

